

販売終了

CKD

Installation Manual

冷凍式エアドライヤ
ゼロアクアRDシリーズ

RD1000(A)・RDM1000(A)
RD2000(A)・RDM2000(A)
シリーズ

取扱説明書

- 据付・操作の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 取扱説明書はいつも操作者が手にとって使用できるところに大切に保管してください。

CKD株式会社

06-07 10版 SM-10725



本製品を安全にご使用いただくために

本製品は使用するにあたって、電気、圧縮空気、液体、配管、冷凍などについての基礎的な知識をもった人を対象にしています。上記の知識をもたない人や十分な訓練を受けていない人が、据付、使用、修理などを行って引き起こした事故に関しては、当社は責任を負いません。

使用方法によっては、十分に性能を発揮できない場合や事故につながる場合もあります。

製品の仕様を必ず確認されるとともに、決められた使用方法でご使用ください。

本製品には、さまざまな安全対策を施していますが、お客様の取扱いミスによって事故につながる場合があります。そのために、必ずこのマニュアル(取扱説明書)を熟読し、内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。

本文中に記載してある取扱注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

本マニュアル(取扱説明書)は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意

注意事項は、 **警告**  **注意** に区分して表示してあります。



警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される場合



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合



警告 回転注意

- ★ファンは突然回転し、ケガの恐れがあります。手や物を入れないでください。
- 点検は、必ず電源を遮断して行ってください。



警告 感電注意

- ★電源端子台、スイッチ類等の電気部品は感電の恐れがあります。
- 点検は、必ず電源を遮断して行ってください。また、濡れた手での作業は危険です。



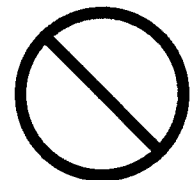
注意 高温注意

- ★運転中、停止後しばらくの間は高温になります。
- 点検は、必ず電源を遮断し、冷えてから行ってください。



注意 足場注意

- ★パネルに乗ると、落下の恐れがあります。
- 絶対にパネルには乗らないでください。



アース接続

- ★感電事故防止のため、必ずアースを接続してください。





フロン回収破壊法遵守

本機に冷媒として使用されているフロンガスは、フロン類の放出禁止と回収・破壊を義務づける法律「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律」（フロン回収破壊法、2002年4月1日施行）に該当します。製品の廃棄あるいは修理時等においては、下記回収破壊システムにおける其々の義務を遵守してください。

回収破壊システムにおける其々の義務

特定製品の廃業者：フロン類回収業者にフロン類を引渡す義務（第19条）

処理費用（回収・運搬・破壊）の負担（第56条）

フロン類回収業者：都道府県知事の登録義務（第9条）

フロン類破壊業者にフロン類を引渡す義務（第21条）

フロン類の回収及び運搬に関する基準の遵守義務（第20条）

回収量等について記録し、知事へ報告する義務（第22条）

フロン類破壊業者：主務大臣の許可義務（第44条）

フロン類回収業者からの引取り義務（第52条）

破壊量の記録と主務大臣への報告義務（第53条）

特定製品製造業者：表示義務（第66条）

特定製品の製造等を業として行う者は、当該特定製品を販売する時まで、当該特定製品に冷媒として充填されているフロン類に関し、当該特定製品に、見やすく、かつ、容易に消滅しない方法で、次に掲げる事項を表示しなければならない。

1. 当該フロン類をみだりに大気中に放出してはならないこと。
2. 当該特定製品を廃棄する場合には、当該フロン類の回収が必要であること。
3. 当該フロン類の種類及び数量。

と定められており、当社ではこの条項に従い製品に次の表示をしております。

HFC（R-407C）の場合（文字：黒色）

フロン回収・破壊法 第一種特定製品	
<p>● この製品には冷媒としてフロン類（HFC）が使われています。 （1）フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 （2）この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。 （3）フロン類の冷媒番号及び数量は、製品銘板に記載されています。</p>	HFC

HCFC（R-22）の場合（文字：青色）は、上記HFCがHCFCとなります。

なお、2002年4月1日以前にお買い上げいただいた製品に対しては、上記銘板が貼付いていないものがありますが、本法律を遵守してください。また、製品の廃棄あるいは修理時等で不明な点がありましたら、販売店あるいは当社最寄の営業所へお問合せください。

保証書

1. 保証期間

本製品の保証期間は、お買い上げから1年間といたします。

冷媒回路はお買い上げから2年間といたします。ただし、2年以内に稼働時間が10,000時間に達した場合は、その期間とします。

2. 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により故障を生じた場合、その製品の修理を無償で速やかに行わせていただきます。

ただし、次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ① 本仕様書に記載されている条件・環境の範囲を逸脱して使用された場合。
- ② 取扱不注意などの誤った使用および誤った管理に起因する場合。
- ③ 故障の原因が納入品以外の事由による場合
- ④ 製品本来の使い方以外の使用による場合。
- ⑤ 納入後に行われた当社側が係っていない構造、性能、仕様などの改変および当社指定外の修理が原因の場合。
- ⑥ 本製品を貴社の機械・機器に組み込んで使用される際、貴社の機械・機器が業界の通念上備えられている機能、構造などを持っていれば回避できた損害の場合。
- ⑦ 納入当時に実用化されていた技術では予見できない事由に起因する場合。
- ⑧ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧、異常水圧、異常水質、凍結、その他の外部要因による場合。
- ⑨ 使用条件に左右される消耗部品の場合（ファンコントロールスイッチ、ポンプのメカニカルシールなど）。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は除外させていただきます。

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外へ輸出されたものについての無償修理は、以下の通りとさせていただきます。

- ① 貴社運賃ご負担にて当社工場へ返却されたものについて修理します。
- ② 修理完了品は国内梱包仕様にて貴社国内ご指定場所へ納入します。

CKD株式会社

〒485-8551 愛知県小牧市応時二丁目 250 番地

PHONE 0568-77-1111

販売終了

1. はじめに

このたびは、冷凍式エアドライヤ「ゼロアクア」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

このマニュアルは、冷凍式エアドライヤ「ゼロアクア」の性能を、十分に発揮させるために、据付・操作等の、基本的な事項を記したものです。ご使用される前に、このマニュアルを、よく読んでいただき、正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は紛失されませんように、大切に保管してください。

目 次

最初にお確かめください	1
使用範囲と適用コンプレッサ	1
各部の名称	2
特に注意していただくこと	3
据付方法	5
運転方法・停止(デジタルモニタ)	7
運転方法・停止(アナログモニタ)	9
点検とお手入れ	11
消耗品リスト・長期間使用しない場合	12
故障?…と思ったら(デジタルモニタ)	13
故障?…と思ったら(アナログモニタ)	13
アフターサービスと保証について	15
外形寸法図	16
仕様	18

最初にお確かめください

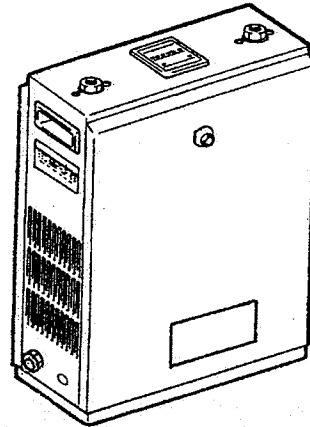
銘板に記載されている形番・仕様等内容をご確認ください。

REFRIGERATED AIR DRYER

POWER	MAX.PRESS.
MAX.AIR TEMP.	AIR.FLOW
CURRENT	MASS
REFRIGERANT	SERIAL No.

Model No.
(形番)

・イラストはデジタルモニタータイプです。



※ 万一記載内容について不審な点がございましたら本機を使用せず、ただちにご購入先・販売店へご連絡ください。

添付品

POWER	---使用電圧	MAX.PRESS.	---最高入気圧力
MAX.AIR TEMP.	---最高入気温度	AIR.FLOW	---流量
CURRENT	---運転電流	MASS	---重さ
REFRIGERANT	---使用冷媒の種類と封入量	SERIAL No.	---機番

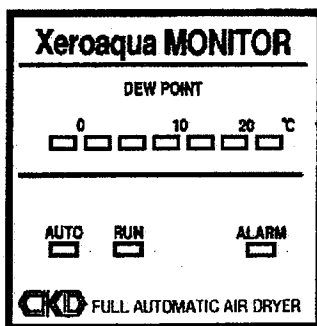
取扱説明書1

使用範囲と適用コンプレッサ

定格処理空気流量 (m ³ /min ANR)		~0.1/0.11	0.2/0.22	0.31/0.35	0.5/0.55	0.74/0.81	1.1/1.2	1.65/1.8	2.5/2.7
適用エアコンプレッサ (kW)		0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15
使用圧力 0.2~1.0 MPa	入気温度 (5~55℃)	RD2001	RD2002	RD2003	RD2004	RD2006	RD2008	RD2011	RD2015
	入気温度 (5~35℃)	—	—	RD1003	RD1004	RD1006	RD1008	RD1011	RD1015
使用圧力 0.2~1.5 MPa	入気温度 (5~55℃)	RDM2001	RDM2002	RDM2003	RDM2004	RDM2006	RDM2008	RDM2011	RDM2015
	入気温度 (5~35℃)	—	—	RDM1003	RDM1004	RDM1006	RDM1008	RDM1011	RDM1015

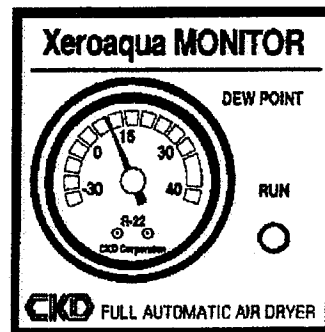
● 形番の末尾に“A”がついているタイプはアナログモニタ表示のドライヤです。

デジタルモニタ



運転方法については
P7,8をご参照ください。

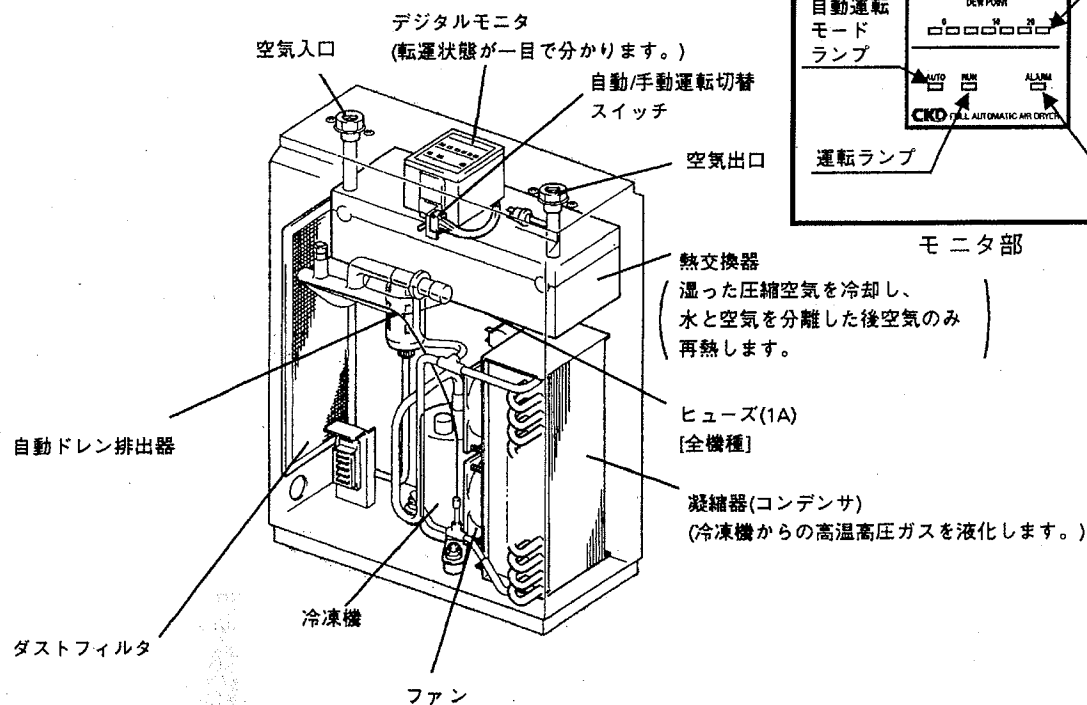
アナログモニタ



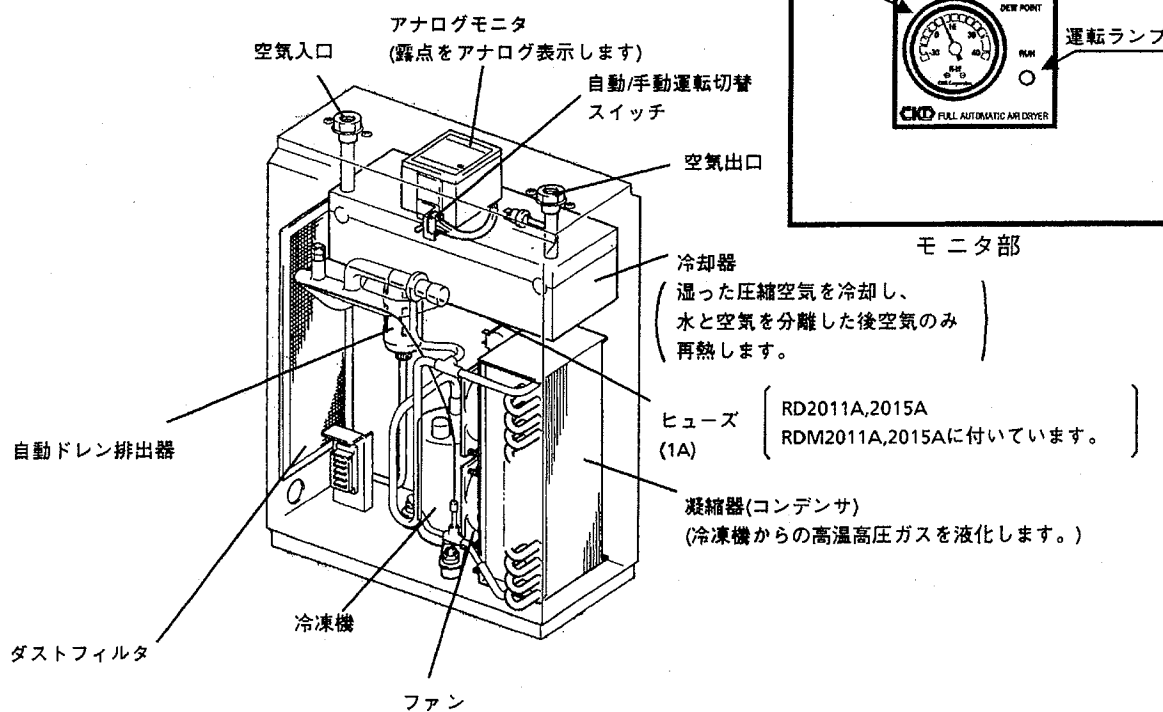
運転方法については
P9,10をご参照ください。

各部の名称

ゼロアクアデジタルモニタタイプ



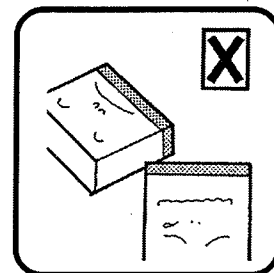
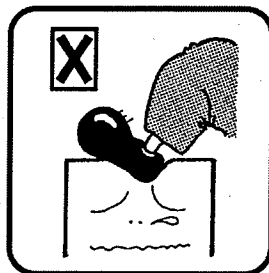
ゼロアクアアナログモニタタイプ



特に注意していただくこと

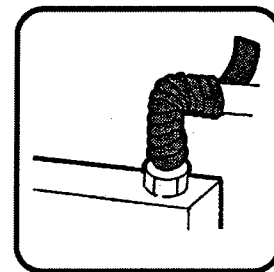
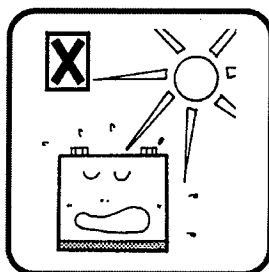
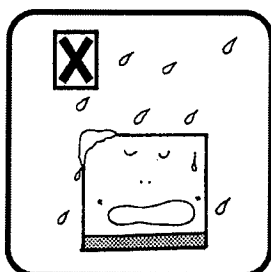
運搬時

- 本体側面の取手を利用して持ち運びください。
(RD1008,2006 以上の大形タイプはベースのフォーク穴をご利用ください。)
- ドライヤの上には乗らないでください。
- 横にしたり、逆さにしないでください。



使用環境

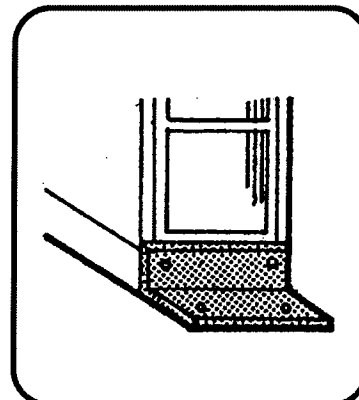
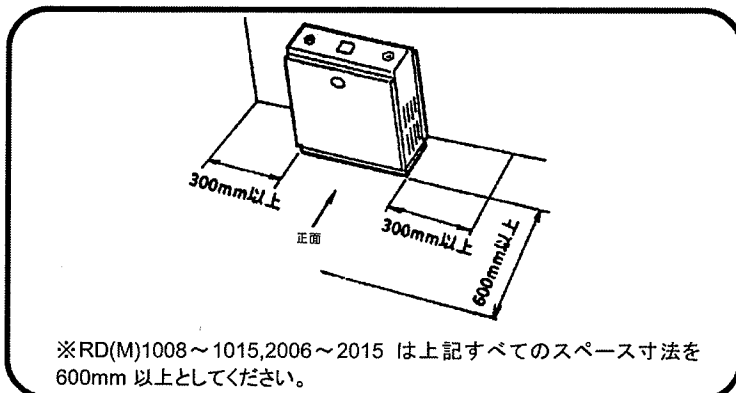
- 腐食性ガスのある場所、雨水のかかる場所での使用は避けてください。
- 直射日光が当たる場所や熱の発生する所でのご使用は避けてください。
熱のこもる場所では換気扇や空気導入口を設け周囲温度40℃以下でご使用ください。
- 夏場湿度の高い日、二次側配管に露がつく場合がありますので断熱材を巻くなどして保温してください。



- 潜函シールド・呼吸用等の医療機器には使用しないこと。
※人身事故などの原因となります。
- 車両・船舶などの輸送機器への搭載使用はしないこと。
※振動等が原因で内部機器破損の原因となります。

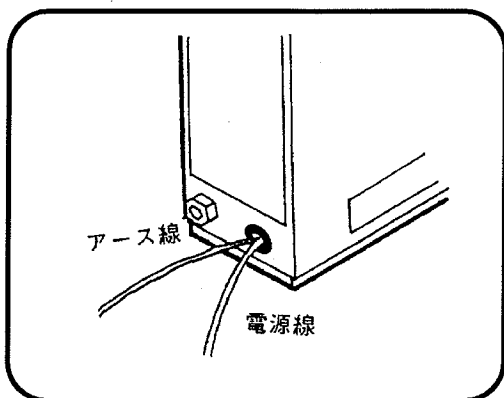
据付時

- 風通しを良くし、保守点検のしやすいスペースを開けてください。
- 固定金具などで固定してください。

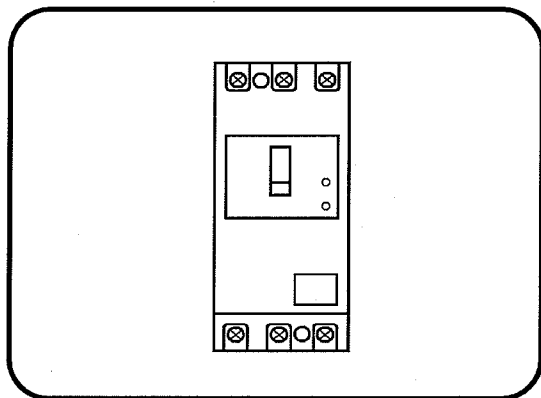


電気・電源

- 安全のために必ずアースを設置してください。



- 元電源には必ず漏電遮断器を設置してください。

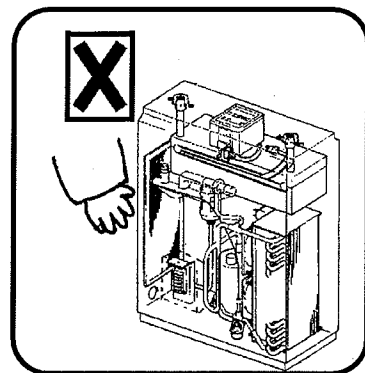
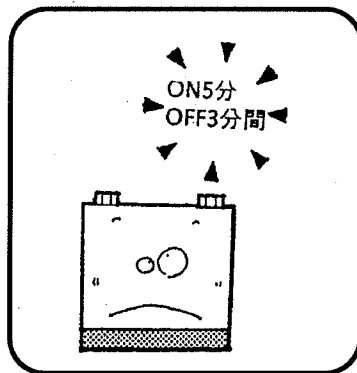
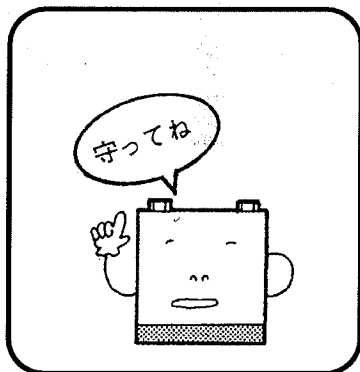


運転時

- 仕様範囲内で使用してください。

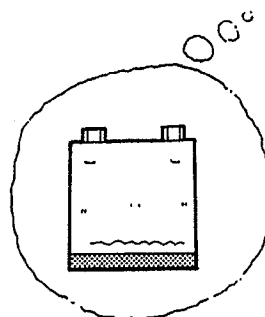
- 始動・停止の頻度は6回/時以下とし、起動後5分間は停止させないようにしてください。また停止時間は3分間以上としてください。
(故障の原因となります)

- 運転中本機内部には高速回転ファンや高温のコンプレッサ・銅管等がありますので手を触れないでください。



停電したとき……

- 短時間の停電(瞬停)の場合、ドライヤが異常停止(ALARMランプ点灯し停止)する可能性がありますのでご点検ください。

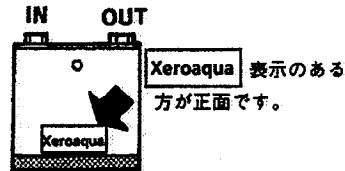
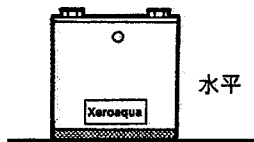


据付方法

① 設置場所

● 水平で丈夫な平面を選んでください。

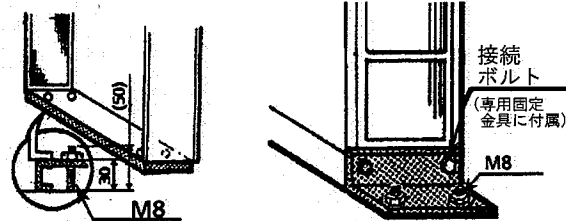
● 正面を手前にして設定してください。



② 本体を固定

● 運転中、振動などで揺れたり倒れたりする場合がありますので、本体を固定してください。

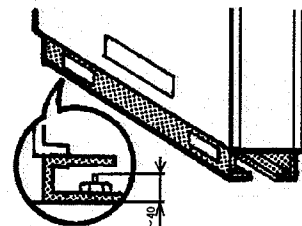
RD(M)1003~1006(A)、RD(M)2001~2004 の場合



① ベースを直接固定

② 専用固定金具(別売品/ご注文 No.F4-222916)による固定

RD(M)1008~1015(A)、RD(M)2006~2015 の場合



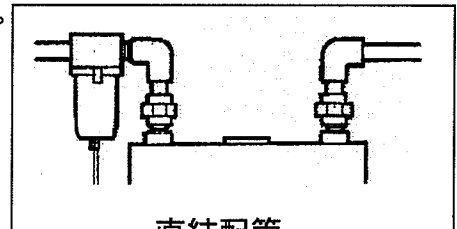
ベースを基礎ボルト等で固定

③ 配管をする

● 入口、出口を確認して配管してください。

● ドライヤ入口直前に必ずエアフィルタ(5ミクロン)を取付けてください。

Xeroaqua	適合エアフィルタ(5ミクロン)
RD2001~2004・RD1003~1004	F3000-10
RD1006,2006	F4000-15
RD1008~1011・RD2008~2011	F8000-20
RD1015,2015	F8000-25



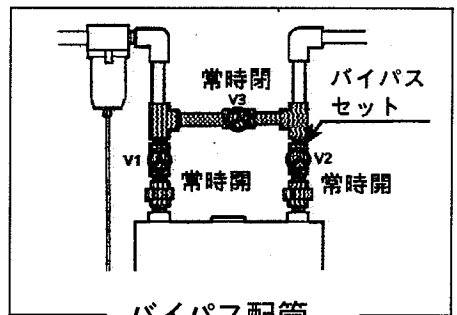
直結配管

● 入口出口には必ずユニオン継手を取付けてください。

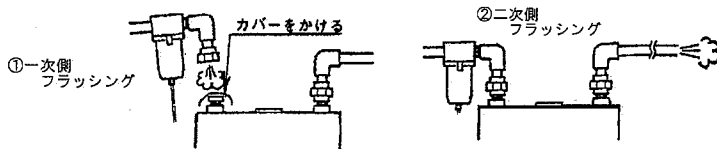
● メンテナンス時にも空気供給が必要な場合はバイパス配管を行ってください。(バイパスセットは別売品で用意しています。)

● 銅管配管は必ず亜鉛メッキを施したものをご使用ください。

● ゴミ・異物等などが空気回路に入らないよう最終接続前に必ずフラッシングを行ってください。



バイパス配管



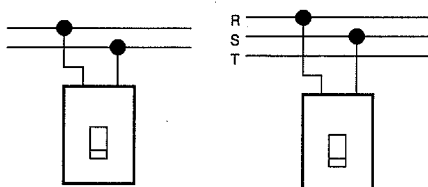
● ドライヤ本体のドレン排出口は Rc1/4 です、内径φ7 以上(推奨チューブF-1510)の配管を使用し、立上がり配管とならないよう接続してください。

④ 漏電遮断機器を設置

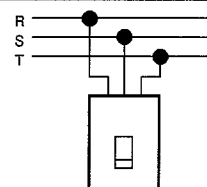
● 漏電遮断器を設置してください。(機種については次ページをご参考にしてください。)

配線は 600V ビニル絶縁電線(IV)1.25mm² 以上をご使用ください。

Xeroaqua 単相の機種



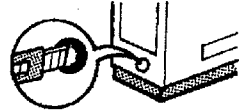
Xeroaqua 三相の機種



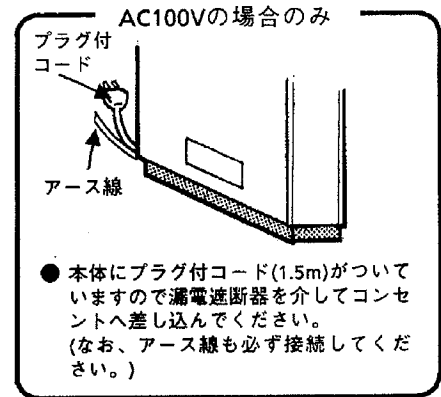
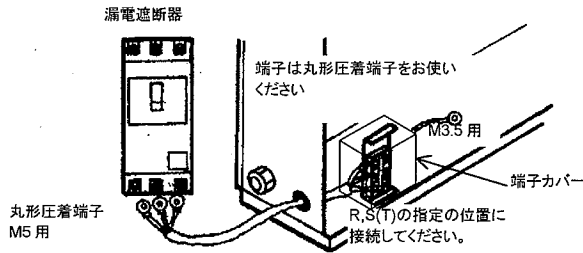
R-S または S-T の組合せで
ご使用ください。

⑤配線をつなぐ

- 本機左側面下部のゴムブッシュ(電気線・アース線導入口)に電線を通す穴を開けてください。



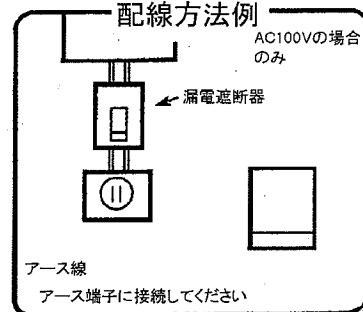
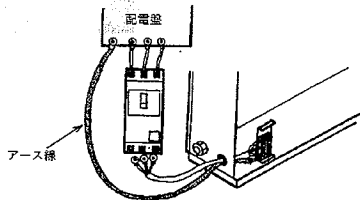
- 電線(300V ビニルキャブタイヤ丸形コード VCTF1. 25mm²以上)を用意して本機内部の端子台と漏電遮断器につないでください。



- 単相電源の場合は2芯、三相電源の場合は芯が必要です。300Vを超える場合はVCTF1. 25mm²以上をご使用ください。
- 試運転時、電源が入らない場合は3相の線のうち2本を入れ替えてください。
{RD(M) 2011(A)、RD(M) 2015(A)のみ}
- 配線後、必ず端子台に付属の端子カバー(透明ソフトカバー)をかけなおしてください。

⑥アースを設置

- アース線(2mm²のKIV線)をご用意ください。
- アース線を本機内部端子台Eと配電盤内のアース端子につないでください。



注意) 水道管やガス管、避雷針には絶対に接続しないでください。

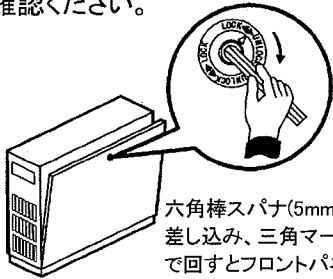
遮断器容量表	
形番	遮断器容量
RD1003(A)~1004(A)-AC100V RD2001(A)~2002(A)-AC100V RDM1003(A)~1004(A)-AC100V RDM2001(A)~2002(A)-AC100V RD1003(A)~1008(A)-AC200V RD2001(A)~2004(A)-AC200V RDM1003(A)~1008(A)-AC200V RDM2001(A)~2004(A)-AC200V	5A
RD1006(A)~1015(A)-AC100V RD2003(A)~2008(A)-AC100V RDM1006(A)~1015(A)-AC100V RDM2003(A)~2008(A)-AC100V RD1011(A)~1015(A)-AC200V RD2006(A)~2008(A)-AC200V RDM1011(A)~1015(A)-AC200V RDM2006(A)~2008(A)-AC200V	10A
RD2011(A)~2015(A)-AC200V RDM2011(A)~2015(A)-AC200V	10A
感度電流 30mA	

運転方法(デジタルモニタタイプ)

① 電源スイッチON

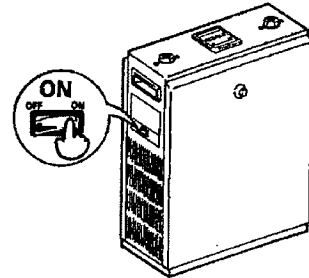
- 工場出荷時には自動運転モードになっております。念のため、フロントパネルをあけてご確認ください。

- 自動運転で使用する場合はそのまま本体電源スイッチをONにします。



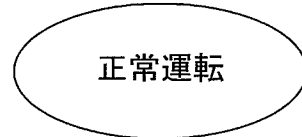
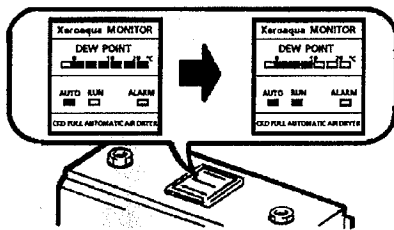
<要領>

六角棒スパナ(5mm又は3/16インチ)を中央の六角穴に差し込み、三角マークを「LOCK」から「UNLOCK」位置まで回すとフロントパネルが開きます。閉じるときは逆の要領で「LOCK」の位置まで確実に戻してください。



② モニタランプを確認

- DEW POINT、AUTOランプが点灯します。(この時 DEW POINT ランプは周囲温度を示しています。)
- 空気圧力が 0.17MPa 以上になると自動的に運転を開始し、RUN ランプが点灯します。さらに DEW POINT ランプがグリーン帯に入り、空気圧力露点を示します。

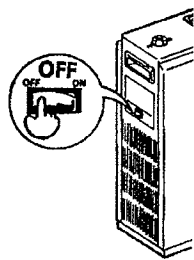


注) 運転中、ファンが運転・停止を繰り返すことがありますが、故障ではありません。

《マニュアル操作をしたい場合》 強制運転をしたいときご使用ください。

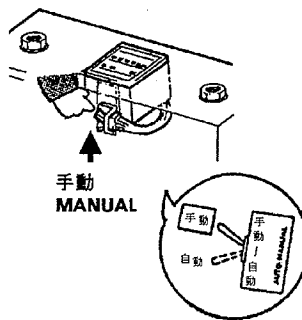
① 電源スイッチ OFF

操作を行う場合は本体電源を必ずOFFにしてから行ってください。



② 切替スイッチを手動側にする

フロントパネルを開けてスイッチを切替える。



③ 電源スイッチON

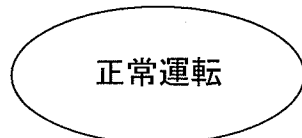
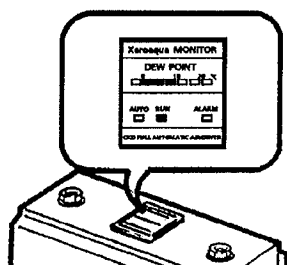
フロントパネルを閉じ、電源スイッチを ON にしてください。



注) 運転時間は5分以上、停止時間は3分以上としてください。

④ モニターランプを確認

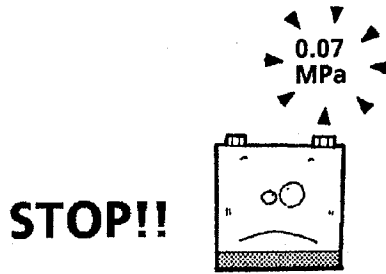
電源スイッチをONにすると同時に RUN ランプが点灯し運転を開始し、DEW POINT ランプがグリーン帯に入り空気圧力露点を示します。



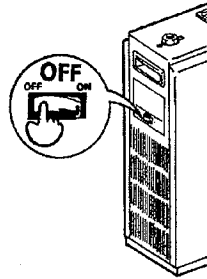
注) 運転中、ファンが運転・停止を繰り返すことがありますが、故障ではありません。

停止

- 自動運転モード時は、空気圧力が 0.07MPa 以下になると自動停止します。



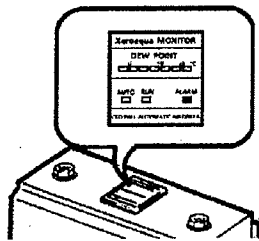
- 空気圧力に関係なく停止させるときは、元電源またはドライヤ本体の電源を OFF にしてください。



安全装置が作動して停止したとき

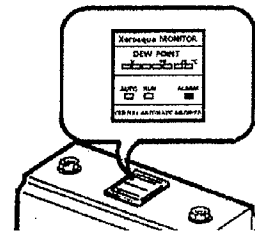
電気回路関係

冷凍機が高温になったり、過電流が流れるとモータプロテクタが作動してドライヤが停止します。
この時にモニタの ALARM ランプが点灯します。



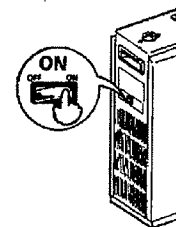
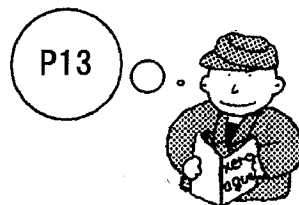
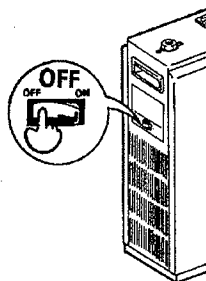
冷媒回路関係

冷媒温度が異常に上昇すると、温度センサが検知し、ドライヤを停止します。この時にモニタの ALARM ランプが点灯します。



解除の仕方

- ① 元電源およびドライヤ本体の電源スイッチを「OFF」にしてください。これでリセットの状態になります。
- ② 異常停止の原因を取り除いてください。(P13 の故障…? と思ったらの処置対策を参照)
- ③ 元電源および本体の電源スイッチを「ON」にしてください。



モータプロテクタが作動して停止した場合はすぐに起動しない場合があります。(電源スイッチを ON にしてもすぐに ALARM ランプが点灯する)この場合は電源スイッチを OFF にし冷凍機が冷えるまでお待ちください。

運転方法(アナログモニタタイプ)

③ 電源スイッチON

- 工場出荷時には自動運転モードになっております。念のため、フロントパネルをあけてご確認ください。
- 自動運転で使用する場合はそのまま本体電源スイッチをONにします。

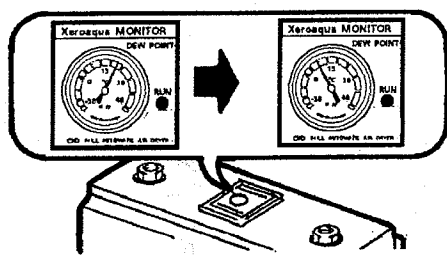


<要領>

六角棒スパナ(5mm又は3/16インチ)を中央の六角穴に差し込み、三角マークを「LOCK」から「UNLOCK」位置まで回すとフロントパネルが開きます。閉じるときは逆の要領で「LOCK」の位置まで確実に戻してください。

④ モニタランプを確認

- 空気圧力が 0.17MPa 以上になると自動的に運転を開始し、RUN ランプが点灯します。
- 3~5 分後、露点計の指針がグリーン帯に入り、空気圧力露点を示します。



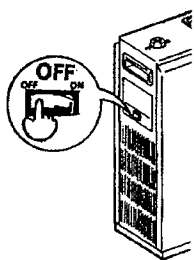
正常運転

注) 運転中、ファンが運転・停止を繰り返すことがありますが、故障ではありません。

《マニュアル操作をしたい場合》 強制運転をしたいときご使用ください。

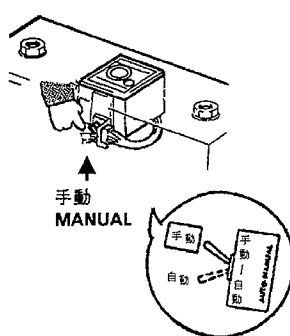
① 電源スイッチ OFF

操作を行う場合は本体電源を必ずOFFにしてから行ってください。



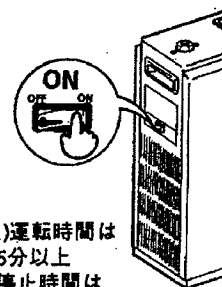
② 切替スイッチを手動側にする

フロントパネルを開けてスイッチを切替える。



③ 電源スイッチON

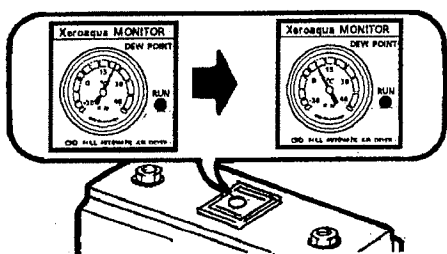
フロントパネルを閉じ、電源スイッチをONにしてください。



注) 運転時間は5分以上
停止時間は3分以上としてください。

④ モニターランプを確認

- 電源スイッチをONと同時に RUN ランプが点灯し運転を開始します。
- 3~5 分後、露点計の指針がグリーン帯に入り、空気圧力露点を示します。

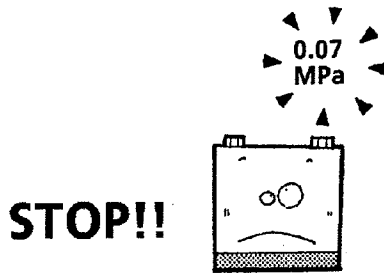


正常運転

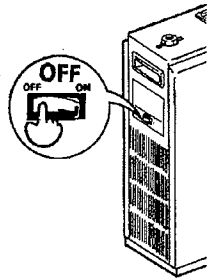
注) 運転中、ファンが運転・停止を繰り返すことがありますが、故障ではありません。

停止

- 自動運転モード時は、空気圧力が0.07MPa以下になると自動停止します。



- 空気圧力に関係なく停止させるときは、元電源またはドライヤ本体の電源をOFFにしてください。



安全装置が作動して停止したとき

電気回路関係

冷凍機が高温になったり、過電流が流れるとモータプロテクタが作動してドライヤが停止します。

冷媒回路関係

冷媒が異常高圧になりますと、高圧スイッチが働きドライヤが停止します。

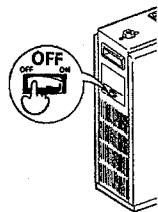
適用機種

RD1015A, RD2008A, RD2011A, RD2015A
RDM1015A, RDM2008A, RDM2011A, RDM2015A

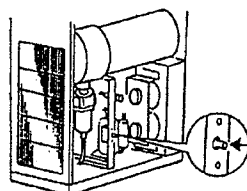
解除の仕方

- 冷凍機が停止し、高温あるいは過電流の状態が解除されると、再び運転を始めます。
- 冷媒回路関係の異常停止はフロントパネルを開け、高圧スイッチの赤いボタンを押してください。再起動は通常通りの操作で行えます。

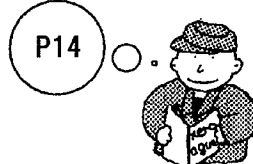
① 元電源およびドライヤ本体の電源スイッチを「OFF」にしてください



② 高圧スイッチの付いている機種はフロントパネルを開け、赤いボタンを押してください。



③ 異常停止の原因を取り除いてください。(P14の故障・・・?とあったらの処置対策を参照)



④ 元電源および本体の電源スイッチをONにしてください。

モータプロテクタが作動して停止した場合はすぐに起動しない場合があります。この場合は冷凍機が冷えるまでお待ちください。冷えてきますと自動的に運転を始めます。

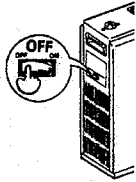
高圧スイッチが作動して停止した場合は電源スイッチONと同時に運転を開始します。

点検とお手入れ

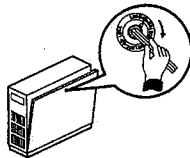
スナップドレン 日常点検とお手入れのしかた

●本機内に設置されているドレン排出器(スナップドレン)は、週1回本体フロントパネルを外して点検してください。

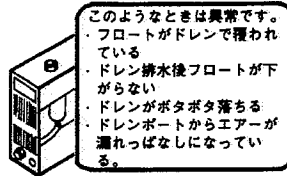
①電源を OFF にする



②フロントパネルを開ける



③ドレン排出器を点検する



④異常がなければフロントパネルを閉じてください

異常があった場合は下記方法に従ってきれいに清掃するかボウル組立を新品に交換してください

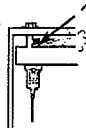
●ドレン排出器(スナップドレン)が異常の場合は次の方法で清掃してください。

①空気の供給をとめてください。
(バイパスセットをご使用の場合はバイパスを開き、ドライヤの一次側二次側バルブを閉じる)

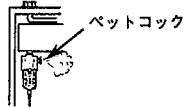
②フロントパネルを外しドライヤ内部の空気を抜いてください。
・RD1000/2000 シリーズはドレン排出器のドレンコックを左に回しドレン排出後、エアも抜いてください。



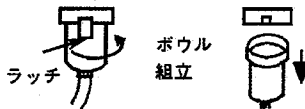
・RDM1003~1006, 2001~2004 は空気入口のすぐ下にペットコックが付けてありますので、左に回して空気を抜いてください。



・RDM1008~1015, 2006~2015 はドレン排出器上部にペットコックがありますので、左に回して空気を抜いてください。



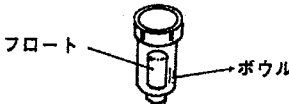
④ボウルガードのラッチを押さえて45°Cほど右に回し、下側に引くとボウル組立が外れます。



⑤ボウル組立内の上に乗っているスクリーンを取り外し洗浄してください。



⑥ボウルの中に水を入れ軽く振ってフロートのまわりのヨゴレを取り除いてください。

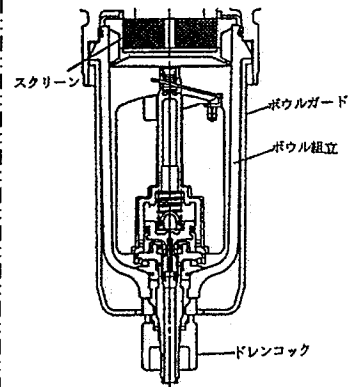


⑦洗浄したスクリーンを元の位置にはめ、洗浄手順の逆の方法で組み付けてください。

⑧ドレンコックおよびペットコックをしめてください。

⑨清掃後も正常に作動しないようでしたらボウル組立を新品に交換してください。

スナップドレン内部構造

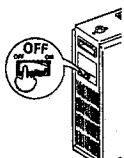


ドレン排出器内にドレン水が充満していますと、ペットコックから水が吹き出してくることがありますので電気部品にかからぬようご注意ください。

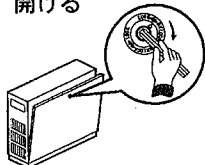
ダストフィルタ

●本機内に設置されているダストフィルタは月に1回エアーガンできれいに清掃してください。

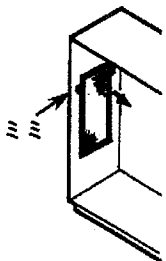
①電源を OFF にする



②フロントパネルを開ける

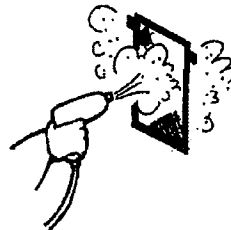


③ダストフィルタを取出す



マジックテープになっていきますのでミミを持ってひきはがしてください

④エアーガンで汚れを吹き飛ばす



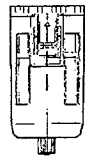
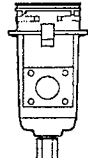

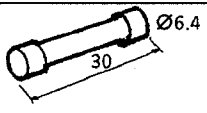
注)汚れのひどい場合は水洗いまたは交換してください。

⑤ダストフィルタのマジックテープ部を押し付けてしっかりと取り付けてください



⑥フロントパネルを閉じる

消耗品リスト

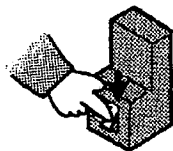
No.	消耗品部品	製品形番	図番(品番)	個数	概略図	備考
1	ドレン排出器	RD1003(A),2001(A)	F4-221058	1		
		RD1004(A)~1015(A) RD2002(A)~2015(A)	F4-205611	1		
		RDM1003(A),2001(A)	F4-221060	1		
		RDM1004(A),1015(A) RDM2002(A)~2004(A)	F4-218470	1		
2	コンデンサ フィルタ	RD(M)1003(A),2001(A)	F3-217238	1		
		RD(M)1004(A),1006(A) RD(M)2002(A)~2004(A)	F3-217239	1		
		RD(M)1008(A),1011(A) RD(M)2006(A)	F3-217240	1		
		RD(M)1015(A),2008(A)	F3-217241	1		
		RD(M)2011(A)	F3-217242	1		
		RD(M)2015(A)	F3-217243	1		
3	ガラス管 ヒューズ	RD(M)1003~1015 RD(M)2001~2015 RD(M)2011A,2015A	1 アンペア	1	 JIS MF-60-NR形	

RD(M)※※※※は、RD※※※※および RDM※※※※共通を表します。
(A)はAなし(デジタルモニタ)及びA付(アナログモニタ)共通を表します。

長期間使用しない場合

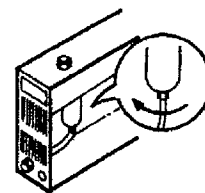
●本機ドライヤを長期間使用しない場合は、下記の方法で大切に保管してください。

①元電源(ブレーカ)を切る



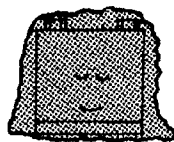
②ドレン水を抜く

ドレン排出器のドレンコックを回してドレンを完全に排出させてください。



注)RDM(中圧)タイプのメタルボウルにはドレンコックがありませんので、ボウルを外して水をすててください。

③保管場所を決める



注)ゴミ・ほこり・雨水・雪・水・直射日光の当たらない場所にシート等をかけて保管してください。

④再度使用するとき



ドライヤの各部を点検後、この取扱説明書の据付方法・運転方法に基づいて運転を開始してください。

故障?…と思ったら (デジタルモニタタイプ)

状況		原因	処置・対策	
電源スイッチを入れても動作しない	自動運転	AOUT ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていない 電源電圧異常 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる 規定の電圧にする
		DEW POINT ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチ不良 ランプ故障 ヒューズ切れ 	<ul style="list-style-type: none"> スイッチ交換 電子モニター交換 ヒューズ交換
		RUN ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていない 電源電圧異常 電源スイッチ不良 ランプ故障 ヒューズ切れ 空気圧が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる 規定の電圧にする スイッチ交換 電子モニター交換 ヒューズ交換 0.17MPa 以上にする
		ALARM ランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍回路保護装置が作動 	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチを OFF にし、リセットする
	手動運転	RUN ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていない 電源電圧異常 電源スイッチ不良 ランプ故障 ヒューズ切れ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる 規定の電圧にする スイッチ交換 電子モニター交換 ヒューズ交換
		DEW POINT ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていない 電源電圧異常 電源スイッチ不良 ランプ故障 ヒューズ切れ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる 規定の電圧にする スイッチ交換 電子モニター交換 ヒューズ交換
		ALARM ランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍回路保護装置が作動 	<ul style="list-style-type: none"> 保護装置動作要因を取り除きリセット
		露点異常	DEW POINT ランプの高温側の橙色ランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 「使用時に水が出る」の(※)の項をご参照ください
	DEW POINT ランプの低温側(0℃以下)の黄色ランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 周囲温度が低い 入口空気温度が低い 露点センサが断線した 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲温度を 2℃以上にする 入口空気温度を 5℃以上にする 露点センサを交換 	
使用時に水が出る	露点は正常であるが末端に水が出る	<ul style="list-style-type: none"> ドレン排出器動作不良 ドレン排出器凍結 周囲温度が 0℃以下 ドライヤ調整不良 	<ul style="list-style-type: none"> ドレン排出器を分解して洗浄する または交換する ドライヤを停止し、配管が凍結しないように対策をする ドライヤを再調整する 	
	(※)DEW POINT 表示が黄色または橙色になっていて末端に水が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 冷媒ガス漏れ 周囲温度が高い 入口温度が高い 空気流量の使い過ぎ コンデンサフィルタ目詰まり 風通しが悪い ファンモータ不良 	<ul style="list-style-type: none"> ガスチャージ 周囲温度 40℃以下になるよう換気する 入口温度使用範囲以下になるよう冷却する 規定の空気流量で使用する コンデンサフィルタを清掃する 風通しをよくする ファンモータ交換 	
運転中に停止する	AOUT ランプが点灯 (自動運転の場合) RUN ランプが点灯	<ul style="list-style-type: none"> 空気圧が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 空気圧が 0.17MPa 以上にする 	
	ALARM ランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍回路保護装置が作動 	<ul style="list-style-type: none"> 保護装置動作要因を取り除きリセット 原因は「使用時に水が出る」の(※)の項をご参照ください 	
	ランプがすべて消灯する	<ul style="list-style-type: none"> 電源が切れた 電源電圧異常 電源スイッチ不良 デジタルモニタ故障 ヒューズ切れ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる (断線、接触不良をチェックする) 規定の電圧にする スイッチ交換 デジタルモニター交換 ヒューズ交換 	

故障?...と思ったら (アナログモニタタイプ)

状況		原因	処置・対策
電源スイッチを入れても動作しない	自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ・電源が入っていない ・ランプ故障 ・空気圧力が低い ・冷凍回路保護装置が作動中 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れる ・ランプ交換 ・0.17MPa 以上にする ・冷凍機が冷えるまで待つ ・高圧スイッチのボタンが出ている場合はボタンを押してリセットする
	手動運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプ故障 ・冷凍回路保護装置が作動中 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプ交換 ・冷凍機が冷えるまで待つ ・高圧スイッチのボタンが出ている場合はボタンを押してリセットする
使用時に水が出る	露点は正常であるが末端に水が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレン排出器動作不良 ・ドレン排出器凍結 周囲温度が0℃以下 ドライヤ調整不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレン排出器を分解して洗浄する または交換する ・ドライヤを停止し、配管が凍結しないように対策をする ・ドライヤを再調整する
	(※)DEW POINT 表示がグリーン帯より上にあり、末端に水が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・冷媒ガス漏れ ・周囲温度が高い ・入口温度が高い ・空気流量の使い過ぎ ・コンデンサフィルタ目詰まり ・風通しが悪い ・ファンモータ不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスチャージ ・周囲温度 40℃以下になるよう換気する ・入口温度使用範囲以下になるように冷却する ・規定の空気流量で使用する ・コンデンサフィルタを清掃する ・風通しをよくする ・ファンモータ交換
運転中に停止する	RUN ランプが消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・電源が切れた ・電源電圧異常 ・電源スイッチ不良 ・冷凍回路保護装置が作動 ・空気圧力が低い (自動運転の場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れる 断線、接触不良をチェックする ・規定の電圧とする ・スイッチ交換 ・保護装置動作要因を取り除く 原因は「使用時に水が出る」の(※)の項をご参照ください。 ・空気圧力を 0.17MPa 以上にする

アフターサービスと保証について

修理サービスについて

- 修理サービスはお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お近くのCKD各支店・各営業所へご相談ください。
(裏表紙をご参照ください)

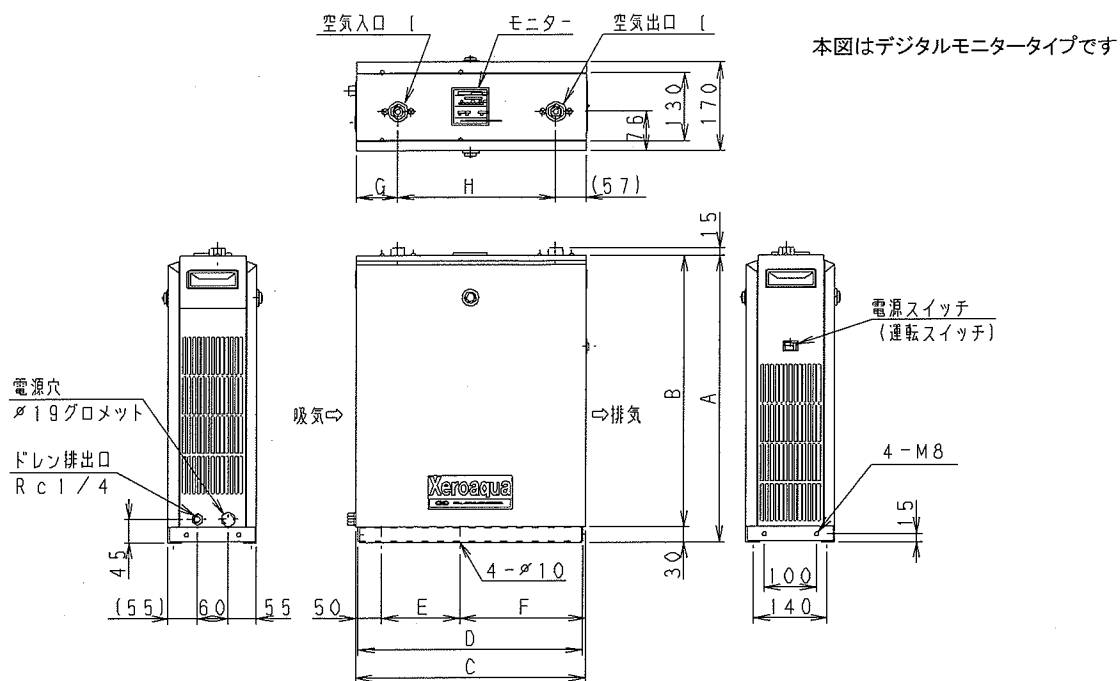
- 修理を依頼される場合は次のことをお知らせください。

- 形番(MODEL No.)
- 機番(SERIAL No.)
- 据付年月日
- 購入先(販売店名)
- 異常の状況

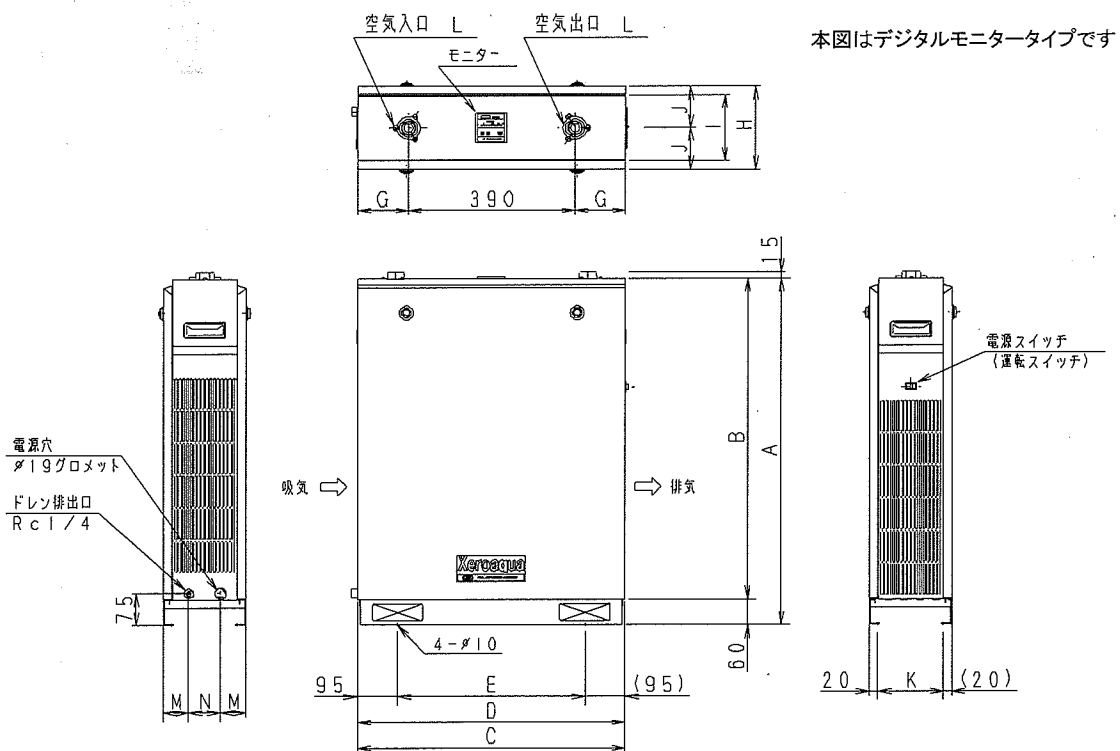
保証期間後のサービス

- 保証期間経過後の修理についても責任をもって修理いたします。販売店にご相談ください。
お客さまのご要望により有償修理いたします。
なお、サービスパーツの保証期間は生産中止後5年間とします。

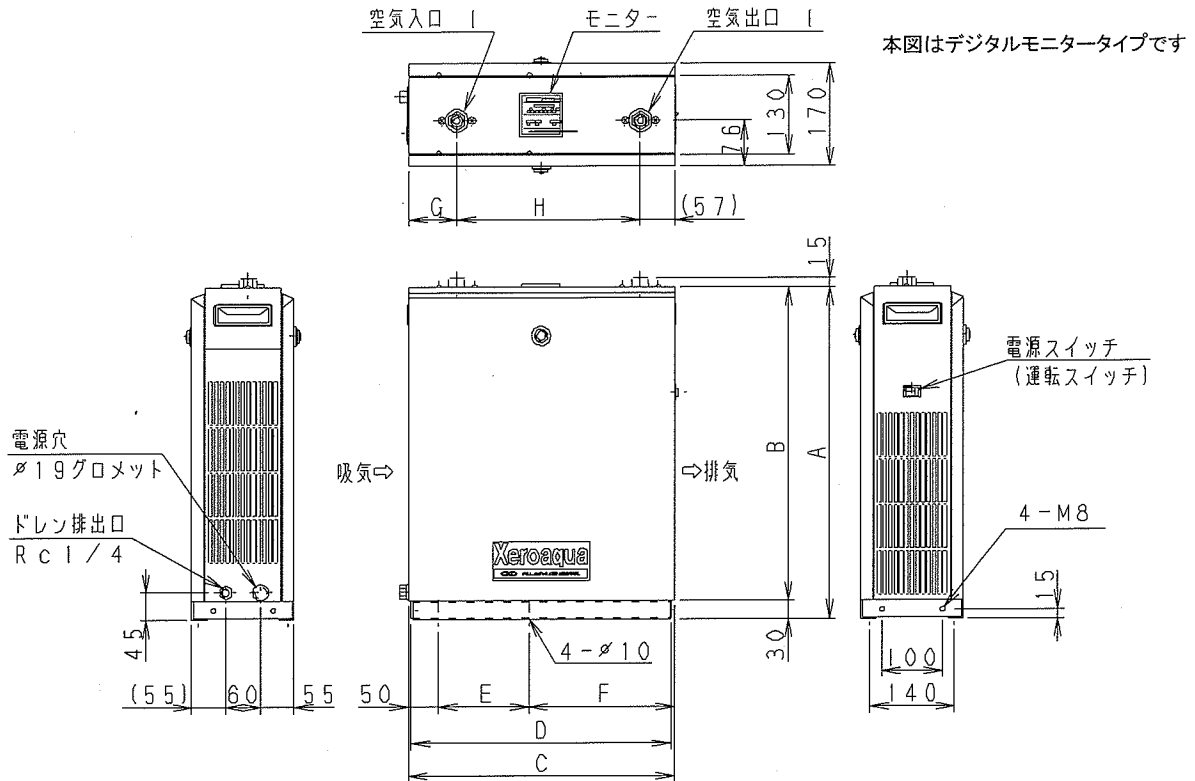
外形寸法図



項目/記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I
RD/RDM2001(A)	460	430	440	430	150	240	80	303	Rc3/8
RD/RDM2002(A)	550	520	440	430	150	240	80	303	Rc3/8
RD/RDM2003(A)	550	520	440	430	150	240	80	303	Rc3/8
RD/RDM2004(A)	550	520	560	550	310	200	100	403	Rc3/8

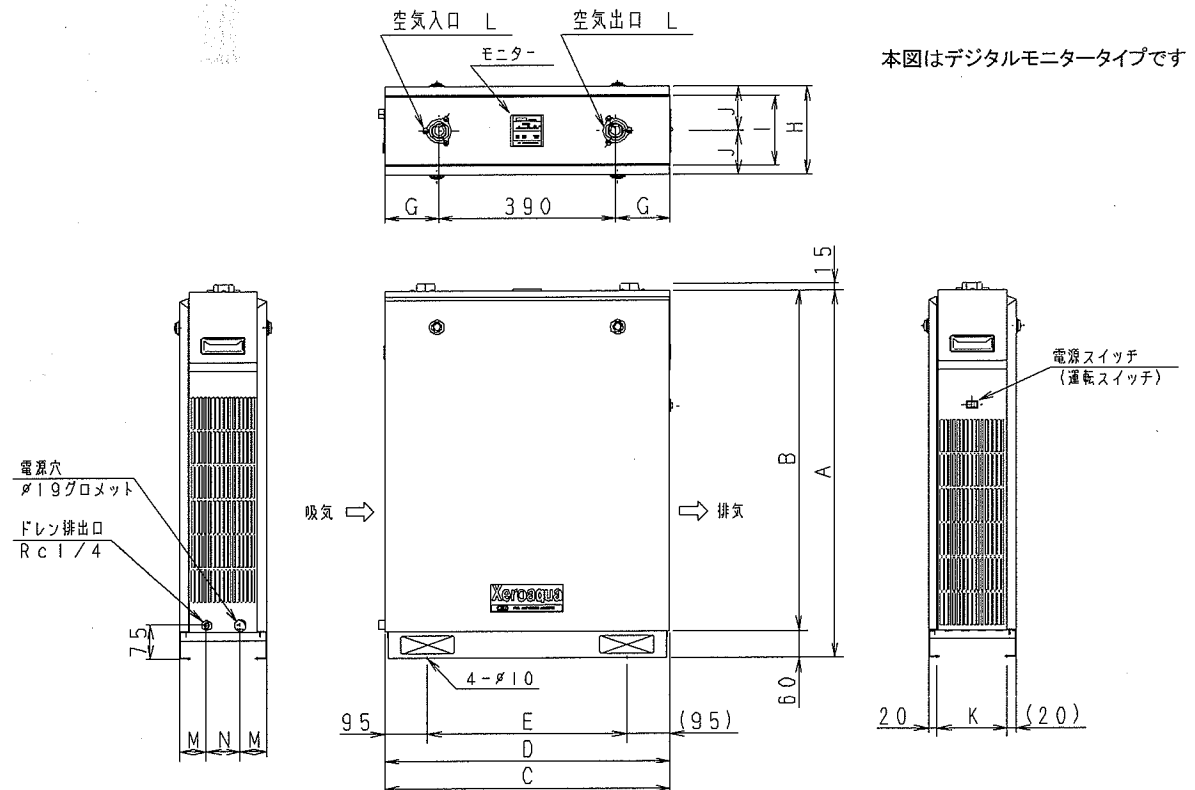


項目/記号	A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L	M	N
RD/RDM2006(A)	750	690	570	560	380	90	195	155	97.5	155	Rc1/2	60	75
RD/RDM2008(A)	810	750	630	620	440	120	195	155	97.5	155	Rc3/4	60	75
RD/RDM2011(A)	860	800	630	620	440	120	280	240	140	240	Rc3/4	80	120
RD/RDM2015(A)	980	920	630	620	440	120	280	240	140	240	Rc1	80	120



本図はデジタルモニタータイプです

項目/記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I
RD/RDM1003(A)	460	430	440	430	150	240	80	303	Rc3/8
RD/RDM 1004(A)	550	520	440	430	150	240	80	303	Rc3/8
RD/RDM 1006(A)	550	520	440	430	150	240	80	303	Rc1/2



本図はデジタルモニタータイプです

項目/記号	A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L	M	N
RD/RDM1008(A)	750	690	570	560	380	90	195	155	97.5	155	Rc3/4	60	75
RD/RDM 1011(A)	750	690	570	560	380	90	195	155	97.5	155	Rc3/4	60	75
RD/RDM 1015(A)	810	750	630	620	440	120	195	155	97.5	155	Rc1	60	75

仕様

RD2000 シリーズ

項目		形番								
		RD 2001(A)	RD 2002(A)	RD 2003(A)	RD 2004(A)	RD 2006(A)	RD 2008(A)	RD 2011(A)	RD 2015(A)	
適用エアコンプレッサ (kW)		~0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	
定格	処理空気量 (m ³ /min ANR)	~0.1/0.11	0.2/0.22	0.31/0.35	0.5/0.55	0.74/0.81	1.1/1.2	1.65/1.8	2.5/2.7	
	入口空気圧力 (MPa)	0.7								
	入口空気温度 (°C)	55								
	周囲温度 (°C)	32								
	出口空気露点 (°C)	10(圧力下)								
使用範囲	使用流体	圧縮空気								
	入口空気温度 (°C)	5~80								
	周囲温度 (°C)	2~40								
	周囲湿度	40~80%RH								
電気仕様	電源	100/200V 単相, 50/60Hz						200V 三相, 50/60Hz		
	消費電力 (kW)	0.16/0.17	0.16/0.17	0.22/0.24	0.29/0.32	0.39/0.44	0.53/0.62	0.66/0.80	0.97/1.19	
	運転電流	AC100V 時 (A)	2.0/2.1	2.0/2.0	2.6/2.8	3.4/3.6	4.6/4.8	5.8/6.4	—	—
		AC200V 時 (A)	1.0/1.0	1.0/1.0	1.3/1.4	1.7/1.8	2.3/2.4	2.9/3.2	2.6/2.8	3.8/4.2
装置細目	運転方法	空気圧力検知による自動運転(0.17MPa:ON,0.07MPa:OFF)および手動運転								
	凝縮器	空冷式								
	冷媒制御方式	キャピラリーチューブ								
	温度制御方式	冷媒圧力制御方式								
冷媒		HCFC22								
空気出入口配管口径 (Rc)		3/8			1/2		3/4		1	
ドレン出口配管口径 (Rc)		1/4								
製品質量 (kg)		16	18	18	23	45	49	58	60	
排熱量 (kW)		0.27	0.37	0.55	0.82	1.19	1.73	2.47	3.82	

RDM2000 シリーズ

項目		形番								
		RDM 2001(A)	RDM 2002(A)	RDM 2003(A)	RDM 2004(A)	RDM 2006(A)	RDM 2008(A)	RDM 2011(A)	RDM 2015(A)	
適用エアコンプレッサ (kW)		~0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	
定格	処理空気量 (m ³ /min ANR)	~0.1/0.11	0.2/0.22	0.31/0.35	0.5/0.55	0.74/0.81	1.1/1.2	1.65/1.8	2.5/2.7	
	入口空気圧力 (MPa)	0.7								
	入口空気温度 (°C)	55								
	周囲温度 (°C)	32								
	出口空気露点 (°C)	10(圧力下)								
使用範囲	使用流体	圧縮空気								
	入口空気温度 (°C)	5~80								
	周囲温度 (°C)	2~40								
	周囲湿度	40~80%RH								
電気仕様	電源	100/200V 単相, 50/60Hz						200V 三相, 50/60Hz		
	消費電力 (kW)	0.16/0.17	0.16/0.17	0.22/0.24	0.29/0.32	0.39/0.44	0.53/0.62	0.66/0.80	0.97/1.19	
	運転電流	AC100V 時 (A)	2.0/2.1	2.0/2.0	2.6/2.8	3.4/3.6	4.6/4.8	5.8/6.4	—	—
		AC200V 時 (A)	1.0/1.0	1.0/1.0	1.3/1.4	1.7/1.8	2.3/2.4	2.9/3.2	2.6/2.8	3.8/4.2
装置細目	運転方法	空気圧力検知による自動運転(0.17MPa:ON,0.07MPa:OFF)および手動運転								
	凝縮器	空冷式								
	冷媒制御方式	キャピラリーチューブ								
	温度制御方式	冷媒圧力制御方式								
冷媒		HCFC22								
空気出入口配管口径 (Rc)		3/8			1/2		3/4		1	
ドレン出口配管口径 (Rc)		1/4								
製品質量 (kg)		16	18	18	23	45	49	58	60	
排熱量 (kW)		0.27	0.37	0.55	0.82	1.19	1.73	2.47	3.82	

■ RD1000 シリーズ

項目 \ 形番		RD1003(A)	RD1004(A)	RD1006(A)	RD1008(A)	RD1011(A)	RD1015(A)	
適用エアコンプレッサ(kW)		~2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	
定格	処理空気量(m ³ /min ANR)	~0.31/0.35	0.5/0.55	0.74/0.81	1.1/1.2	1.65/1.8	2.5/2.7	
	入口空気圧力 (MPa)	0.7						
	入口空気温度(°C)	35						
	周囲温度 (°C)	32						
	出口空気露点(°C)	10(圧力下)						
使用範囲	使用流体	圧縮空気						
	入口空気温度(°C)	5~50						
	周囲温度 (°C)	2~40						
	周囲湿度	40~80%RH						
	使用圧力 (MPa)	0.2~10						
電気仕様	電源	100/200V 単相, 50/60Hz						
	消費電力 (kW)	0.16/0.17	0.16/0.17	0.22/0.24	0.29/0.32	0.39/0.44	0.53/0.62	
	運転電流	AC100V 時(A)	2.0/2.1	2.0/2.0	2.6/2.8	3.4/3.6	4.6/4.8	5.8/6.4
		AC200V 時(A)	1.0/1.0	1.0/1.0	1.3/1.4	1.7/1.8	2.3/2.4	2.9/3.2
装置細目	運転方法	空気圧力検知による自動運転(0.17MPa:ON,0.07MPa:OFF)および手動運転						
	凝縮器	空冷式						
	冷媒制御方式	キャピラリーチューブ						
	温度制御方式	冷媒圧力制御方式						
	冷媒	HCFC22						
空気出入口配管口径(Rc)		3/8		1/2	3/4		1	
ドレン出口配管口径(Rc)		1/4						
製品質量 (kg)		16	18	18	45	45	49	
排熱量 (kW)		0.3	0.4	0.58	0.83	1.2	1.8	

■ RDM1000 シリーズ

項目 \ 形番		RDM1003(A)	RDM1004(A)	RDM1006(A)	RDM1008(A)	RDM1011(A)	RDM1015(A)	
適用エアコンプレッサ(kW)		~2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	
定格	処理空気量(m ³ /min ANR)	~0.31/0.35	0.5/0.55	0.74/0.81	1.1/1.2	1.65/1.8	2.5/2.7	
	入口空気圧力 (MPa)	0.7						
	入口空気温度(°C)	35						
	周囲温度 (°C)	32						
	出口空気露点(°C)	10(圧力下)						
使用範囲	使用流体	圧縮空気						
	入口空気温度(°C)	5~50						
	周囲温度 (°C)	2~40						
	周囲湿度	40~80%RH						
	使用圧力 (MPa)	0.2~15						
電気仕様	電源	100/200V 単相, 50/60Hz						
	消費電力 (kW)	0.16/0.17	0.16/0.17	0.22/0.24	0.29/0.32	0.39/0.44	0.53/0.62	
	運転電流	AC100V 時(A)	2.0/2.1	2.0/2.0	2.6/2.8	3.4/3.6	4.6/4.8	5.8/6.4
		AC200V 時(A)	1.0/1.0	1.0/1.0	1.3/1.4	1.7/1.8	2.3/2.4	2.9/3.2
装置細目	運転方法	空気圧力検知による自動運転(0.17MPa:ON,0.07MPa:OFF)および手動運転						
	凝縮器	空冷式						
	冷媒制御方式	キャピラリーチューブ						
	温度制御方式	冷媒圧力制御方式						
	冷媒	HCFC22						
空気出入口配管口径(Rc)		3/8		1/2	3/4		1	
ドレン出口配管口径(Rc)		1/4						
製品質量 (kg)		16	18	18	45	45	49	
排熱量 (kW)		0.3	0.4	0.58	0.83	1.2	1.8	

販売終了

販売終了

CKD株式会社

北海道

●札幌営業所
〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26(苗穂駅前ビル1階)
TEL(011)232-1760 FAX(011)232-9050

東北

●北上営業所
〒024-0034 岩手県北上市諏訪町2-4-26
TEL(0197)63-4147 FAX(0197)63-4186

●仙台営業所

〒984-0015 仙台市若林区御町2-2-1(バックス2-1階)
TEL(022)239-1851 FAX(022)239-1856

●山形営業所

〒990-0834 山形県山形市清住町2-6-24
TEL(023)644-6391 FAX(023)644-7273

●郡山営業所

〒963-8034 福島県郡山市島1-16-9
TEL(0249)23-6348 FAX(0249)24-0862

北関東

●大宮営業所
〒330-0812 さいたま市北区宮原町3-429-1(第一清水ビル2階)
TEL(048)652-3811 FAX(048)652-3816

●茨城営業所

〒300-0847 茨城県土浦市御町1-1-1(関鉄つくばビル4階C)
TEL(029)841-7490 FAX(029)841-7495

●宇都宮営業所

〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷3-1-7(NBF宇都宮ビル3階)
TEL(028)638-5770 FAX(028)638-5790

●太田営業所

〒373-0813 群馬県太田市内ヶ島町946-2(大機総合ビル1階)
TEL(0276)45-8935 FAX(0276)46-5628

南関東

●東京営業所
〒105-0013 東京都港区浜松1-31-1(文化放送メディアプラス4階)
TEL(03)5402-3628 FAX(03)5402-0122

●立川営業所

〒190-0022 東京都立川市錦町3-2-30(朝日生命立川錦町ビル3階)
TEL(042)527-3773 FAX(042)527-3782

●千葉営業所

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-5-19(千葉南ビル3階)
TEL(043)248-2815 FAX(043)248-2818

●横浜営業所

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-17-19(日総第15ビル4階)
TEL(045)475-3471 FAX(045)475-3470

●厚木営業所

〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲1212-3
TEL(046)226-5201 FAX(046)226-5208

●甲府営業所

〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1509
TEL(055)224-5256 FAX(055)224-3540

●東京支店

〒105-0013 東京都港区浜松1-31-1(文化放送メディアプラス4階)
TEL(03)5402-3620 FAX(03)5402-0120

北陸・信越

●長岡営業所
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-4-33(高野不動産ビル2階)
TEL(0258)33-5446 FAX(0258)33-5381

●上田営業所

〒386-0034 長野県上田市大字中之条323-6(NFビル103号)
TEL(0268)24-2392 FAX(0268)24-2394

●松本営業所

〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5945
TEL(0263)25-0711 FAX(0263)25-1334

●富山営業所

〒939-8064 富山県富山市赤田中町494-1
TEL(076)421-7828 FAX(076)421-8402

●金沢営業所

〒920-0025 石川県金沢市駅西本町3-16-8
TEL(076)262-8491 FAX(076)262-8493

東海

●名古屋営業所

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL(0568)74-1371 FAX(0568)77-3291

●豊田営業所

〒473-0912 愛知県豊田市広田町広田103
TEL(0565)54-4771 FAX(0565)54-4755

●静岡営業所

〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-3-5
TEL(054)237-4424 FAX(054)237-1945

●浜松営業所

〒453-0016 静岡県浜松市和田町438
TEL(053)463-3021 FAX(053)463-4910

●四日市営業所

〒510-0064 三重県四日市市新正5-3-20
TEL(0593)51-3151 FAX(0593)51-6788

●名古屋支店

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL(0568)74-1356 FAX(0568)77-3317

関西

●大阪営業所

〒542-0073 大阪府中央区日本橋1-17-17(銀泉日本ビル)
TEL(06)6635-2773 FAX(06)6643-5950

●大阪東営業所

〒577-0083 大阪府守口市京阪本通1-2-3
(損保ジャパン守口ビル6階)
TEL(06)4250-6333 FAX(06)6991-7477

●堺営業所

〒591-8021 大阪府堺市新金岡町5-5-6(泉マンション1階)
TEL(072)253-0071 FAX(072)253-0054

●滋賀営業所

〒524-0033 滋賀県守山市浮気町宇中町300-21(第2小島ビル4階)
TEL(077)514-2650 FAX(077)583-4198

●京都営業所

〒612-8414 京都市伏見区竹田段川原町35-3
TEL(075)645-1130 FAX(075)645-4747

●奈良営業所

〒639-1123 奈良県大和郡山形町460-15(オアシス・ロジナ1階)
TEL(0743)57-6831 FAX(0743)57-6821

●神戸営業所

〒673-0016 兵庫県明石市松の内2-6-8(西明石スポットビル3階)
TEL(078)923-2121 FAX(078)923-0212

●大阪支店

〒542-0073 大阪府中央区日本橋1-17-17(銀泉日本ビル)
TEL(06)6635-2765 FAX(06)6643-5015

中国

●広島営業所

〒730-0022 広島市中区銀山町3-1(ひろしまハイビル2112階)
TEL(082)545-5125 FAX(082)244-2010

●岡山営業所

〒700-0916 岡山県岡山市西之町10-104
TEL(086)244-3433 FAX(086)241-8872

●山口営業所

〒747-0034 山口県防府市天神2-2-2
TEL(0835)38-3556 FAX(0835)22-6371

四国

●高松営業所

〒760-0025 香川県高松市観光通2-2-15(ダイヤビル)
TEL(087)834-9640 FAX(087)834-9633

●松山営業所

〒790-0053 愛媛県松山市竹原2-1-33(サンライト竹原1階)
TEL(089)931-6135 FAX(089)931-6139

九州

●北九州営業所

〒802-0976 北九州小倉南区南方5-13-34
TEL(093)964-0785 FAX(093)964-0910

●福岡営業所

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-10-27(アステシア博多ビル5階)
TEL(092)473-7136 FAX(092)473-5540

●大分営業所

〒871-0015 大分県中津市牛神町1-11-1
TEL(0979)26-0725 FAX(0979)23-6866

●熊本営業所

〒869-1103 熊本県菊池郡菊陽町久保田2799-13
TEL(096)340-2580 FAX(096)340-2584

本社

●本社・工場

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL(0568)77-1111 FAX(0568)77-1123

●営業本部

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL(0568)74-1303 FAX(0568)77-3410

●海外営業部

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL(0568)74-1338 FAX(0568)77-3461

CKD Corporation

□ 2-250 Ouji Komaki,Aichi 485-8551,Japan
□ PHONE +81-(0)568-74-1336 FAX +81-(0)568-77-3412

USA

CKD USA CORPORATION
●HEADQUARTERS
4080 Winnetka Avenue, Rolling Meadows, IL 60008 USA
PHONE +1-847-368-0539 FAX +1-847-788-0575
●CINCINNATI OFFICE
●SAN ANTONIO OFFICE
●SAN JOSE OFFICE

Europe

CKD EUROPE BRANCH
De Fruittuinen 28 Hoofddorp 2132NZ The Netherlands
PHONE +31-(0)23-5541490 FAX +31-(0)23-5541491

Malaysia

M-CKD PRECISION SDN.BHD.
●HEADQUARTERS
Lot No.6,Jalan Modal 23/2, Seksyen 23, Kawasan, MIEL,
Fasa 8, 40300 Shah Alam,Selangor Darul Ehsan, Malaysia
PHONE +60-(0)3-5541-1468 FAX +60-(0)3-5541-1533
●JOHOR BAHRU OFFICE
●MELAKA OFFICE
●PENANG OFFICE

Thailand

CKD THAI CORPORATION LTD.
●SALES HEADQUARTERS-BANGKOK OFFICE
Suwan Tower, 14/1 Soi Saladaeng 1, North Sathorn Rd., Bangrak,
Bangkok 10500 Thailand
PHONE +66-(0)2-267-6300 FAX +66-(0)2-267-6305
●LAEMCHABANG OFFICE
●NAVANAKORN OFFICE
●RAYONG OFFICE
●LAMPHUN OFFICE
●KORAT OFFICE
●AMATANAKORN OFFICE

Singapore

CKD SINGAPORE PTE LTD.
705 Sims Drive #03-01/02, Shun Li Industrial Complex,
387384 Singapore
PHONE +65-6744-2623 FAX +65-6744-2486

Taiwan

日商喜開理股 有限公司台湾分公司
CKD CORPORATION TAIWAN BRANCH
中華民國台湾省台北市中山北路二段96號嘉新大樓第14樓1405室
Rm.1405,14F,No.96,Sec.2,Chung Shan N.Rd.,Taipei, Taiwan,R.O.C
PHONE +886-(0)2-2523-0374 FAX +886-(0)2-2523-5081

China

喜開理(上海)機噐有限公司
CKD(SHANGHAI)CORPORATION
●営業部/上海事務所
(SALES HEADQUARTERS / SHANGHAI OFFICE)
中国上海市黄浦区九江路333号金融廣場19樓1903室
Room 1903, 333 Jiujiang Road, Shanghai, 200001, China
PHONE +86-(0)21-63602277 FAX +86-(0)21-63511661
●無錫事務所(WUXI OFFICE)
●南京事務所(NANJING OFFICE)
●杭州事務所(HANGZHOU OFFICE)
●武漢事務所(WUHAN OFFICE)
●青島事務所(QINGDAO OFFICE)
●蘇州事務所(SUZHOU OFFICE)
●北京事務所(BEIJING OFFICE)
●天津事務所(TIANJING OFFICE)
●長春事務所(CHANG CHUN OFFICE)
●大連事務所(DALIAN OFFICE)
●瀋陽事務所(SHENYANG OFFICE)
●西安事務所(XIAN OFFICE)
●重慶事務所(CHONGQING OFFICE)
●成都事務所(CHENGDU OFFICE)
●広州事務所(GUANGZHOU OFFICE)
●深圳事務所(SHENZHEN OFFICE)

Korea

CKD KOREA CORPORATION
Room No.1105, 11th FL, The Korea Teachers Pension B/L 27-2,
Yoido-Dong, Youngdeungpo-Gu, Seoul, 150-742, Korea
PHONE +82-(0)2-783-5201~5203 FAX +82-(0)2-783-5204